

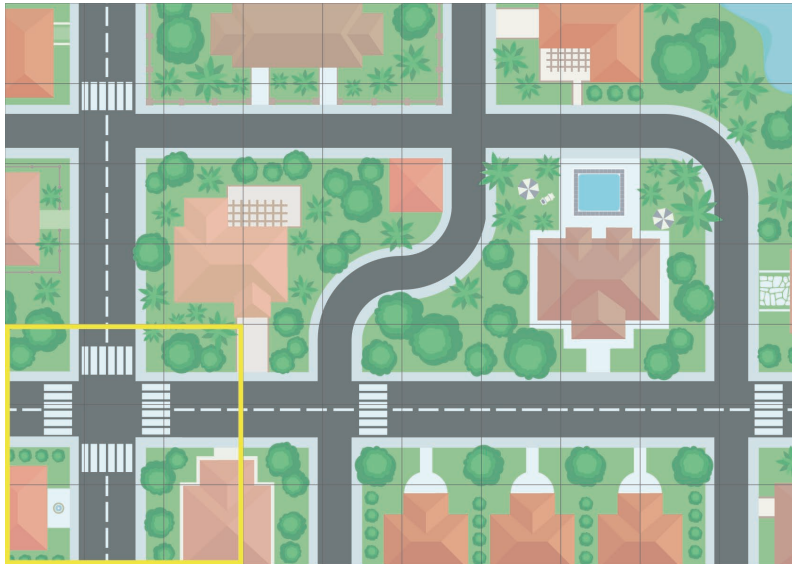
Junior Robot Competition (2026Winter-)

ミニロボクラス

基本ルール

1. ゲームフィールド

1.1 コース図(ベース)



上記の図を基にしてその年独自の改変を行うことがある。詳細は各競技ルールを参照。

1.2 サイズや素材など

- 1.2.1 サイズはA2 (594mm x 420mm) である。また、シート状の最少のマス目は59.4mm x 60mmである。
- 1.2.2 素材は上質紙で、シート上のイラストやラインは染料インクを使用して印刷されている。
- 1.2.3 競技マットは発泡ボードに両面テープで貼りつけられており、周囲に壁はない。

2. 使用教材やロボット、プログラム等に関するもの

2.1 使用教材

- 2.1.1 使用できるロボットはmicrobric Edison、SONY toio、山崎教育システム プロロボとする。
- 2.1.2 1台のロボットにつき制御部は2つまでとする。その他の部品は危険性の低いブロックパーツの使用を推奨する。
- 2.1.3 使用できるプログラムの開発環境に指定はない。

2.2 ロボットのサイズ

- 2.2.1 競技開始前は黄色のライン内にロボットのすべての部分が収まること。競技開始後はこの限りではない。

2.3 大会当日に使用できるロボットとプログラム

- 2.3.1 大会当日は各チームとも競技に使用する組立済みロボットは1台までとする。2台以上のロボットで練習を行わないこと。
- 2.3.2 ロボットやプログラムは事前に制作したものを持ち込んで使用してもよい。

2.4 ロボットとパソコンへの接続

- 2.4.1 有線接続が可能な場合は有線接続を使用すること。ただし、有線接続ができない場合は無線接続を使用してもよい。

Junior Robot Competition (2026Winter-)

ミニロボクラス

基本ルール

3. チーム構成

3.1 チームの構成要件

- 3.1.1 チームは選手1~2名および成人のコーチ1名で構成することとする。
- 3.1.2 選手の年齢は次のとおりとする。また、選手は下記A, B, Cのいずれかの年齢の範囲でチームを構成すること。
 - A. 大会開催年の12月31日時点で7~12歳の選手 (2026年大会:2014~2019年生まれ)
 - B. 大会開催年の12月31日時点で11~15歳の選手 (2026年大会:2011~2015年生まれ)
 - C. 大会開催年の12月31日時点で14~18歳の選手 (2026年大会:2008~2012年生まれ)
- 3.1.3 チームは複数のクラスに参加することはできない。
- 3.1.4 選手は複数のチームに参加することはできない。
- 3.1.5 コーチは複数のチームのコーチを兼任することができる。

4. 当日の競技

4.1 競技の実施方法

- 4.1.1 当日は競技を2回行う。

4.2 制限時間と計測

- 4.2.1 各競技の制限時間は60秒とする。
- 4.2.2 チームの記録タイムは、後述する競技終了時点でのタイムとなる。

4.3 競技の終了要件

- 4.3.1 競技を終了する要件は次のとおりである。
 - A. 制限時間60秒が経過する
 - B. 競技開始後にチームの選手がロボットに触れる
 - C. ロボットが競技コースから完全に離れる
 - D. ロボットやチームがルールに違反する
 - E. ロボットが完全に停止してチームの選手が「ストップ」と宣言する
 - F. 競技開始後にチームの選手が競技コースや競技オブジェクトに触れる

Junior Robot Competition (2026Winter-)

ミニロボクラス

基本ルール

4.4 順位の決定方法

4.4.1 順位の決定方法は次の優先順位のとおりである。

- ①2回の競技のベストスコアが高い順
- ②2回の競技のセカンドスコアが高い順
- ③同率順位とする

5. ペナルティ

5.1 ペナルティの内容

5.1.1 チームはルールに違反した場合、次の1つ以上のペナルティを課せられる可能性がある。

- A. 15分間のペナルティタイム(ロボットやプログラムの調整等禁止)
- B. 1回または2回とも競技に参加できない
- C. 1回または2回とも競技得点の最大50%減点
- D. 大会からの完全な失格

6. 禁止事項など

6.1 禁止事項

- 6.1.1 ロボットは競技をするとき、チームが外部から力や情報を与えてはならない。
- 6.1.2 当日は選手自身の力で競技にチャレンジしなければならない。そのため、当日は引率者などに解決策を教えてもらったり、代わりに制作してもらってはならない。
- 6.1.3 当日の開会式後は他のチームとロボットやパソコンを共有してはならない。
- 6.1.4 当日の開会式後はUSBメモリなど外部記憶装置を使用してはならない。ただし、緊急時にバックアップファイルが必要な場合は審判等スタッフの許可を得ること。
- 6.1.5 当日の開会式後に外部から選手エリアにロボットやパソコンを持ち込んではならない。ただし、機器の故障時などに備えて予備機をコーチが一元管理している場合は審判等スタッフの許可を得ること。
- 6.1.6 当日の開会式後に指定されたエリアから退出してはならない。
- 6.1.7 審判等スタッフや他チームへの妨害行為、迷惑行為を行ってはならない。また、審判等から指示があった場合は速やかに従わなければならない。

6.2 倫理規定

- 6.2.1 本大会は青少年の学習が第一の目的であるため、コーチ等は選手に代わりロボットやプログラムを制作しないこと。
- 6.2.2 コーチは選手任せにせず大会の趣旨やルールを把握し、適切なアドバイスや情報提供を選手に行い、健全な競争につながるよう心がけること。
- 6.2.3 選手自身で自ら手を動かし、自ら考え、研鑽を積むこと。そのためにコーチからアドバイスをもらったりしながらこの大会に臨むこと。

6.3 その他

6.3.1 この文書に記載のない項目においては、主催者や審査員が判断し、裁定する。